

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況 (6月分) について

2025年6月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	14,246,499	11,326,317	125.8%
国内旅行	15,563,543	14,604,718	106.6%
訪日旅行	726,861	378,478	192.0%
合計	30,536,903	26,309,513	116.1%

【概況】

6月の営業概況は、総取扱額 305 億 3,690 万 3 千円、前年同月比 116.1%となりました。

海外旅行は、2025年6月の出国日本人数が2019年同月比で69.3%にとどまり、前月から5.6ポイント減少しました。依然として出国者数の増減が続いており、市場は安定的な回復には至っていません。

こうした状況の中、当社では好調に推移しているエジプトに加え、市況環境の変化に伴い需要が拡大傾向にある中国や香港、マカオなど、地方空港発着のアジア商品の拡充に取り組みました。また、回復基調にある欧州や中南米においては、スイスやイタリア、ペルー(マチュピチュ遺跡)など需要が見込まれる周遊型ツアーの旅行説明会を各地域で実施し、募集活動を継続的に行いました。

その結果、エジプトは前年同月比で3.5倍となったほか、中国は9倍と大きく伸長しました。香港や欧州、中南米についても前年を上回り、回復が進んでいます。

海外旅行の取扱高は、142 億 4,649 万 9 千円、前年同月比 125.8%となりました。

国内旅行は、6月の消費者物価指数が前年同月比で3.3%増と高水準で推移しており、旅行需要の停滞が継続しています。

このような状況の中、当社では旅行需要の傾向に応じた商品のラインナップ強化に取り組むとともに、各地域の特性を踏まえたプロモーション施策を展開しました。ベストシーズンを迎えた北海道に加えて、大阪・関西万博をテーマとする企画商品や、好調な推移を見せる八重山諸島など離島を巡る周遊型ツアーの募集告知を行いました。

その結果、近畿地方の取扱高は前年同月比で大幅に上回りました。また、グレードの高いホテルを利用する商品を中心に、沖縄、北海道、九州が堅調に推移しました。

国内旅行の取扱高は、155億6,354万3千円、前年同月比106.6%となりました。

株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	2,457,363	2,510,199	97.9%
国内旅行	212,658	197,978	107.4%
訪日旅行	12,636	14,311	88.3%
合 計	2,682,657	2,722,488	98.5%

【概況】

6月の営業概況は、総取扱額26億8,265万7千円、前年同月比98.5%となりました。

海外旅行は、米国の関税方針に伴う世界経済の先行き不透明感により、業務出張を控える傾向が継続しており、取扱高は前年同月比97.9%となりました。

国内旅行は、業務出張が活発な状況が続いており、取扱高は前年同月比107.4%と堅調に推移しました。

2社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	16,368,524	13,462,921	121.6%
国内旅行	15,738,615	14,761,185	106.6%
訪日旅行	739,497	392,789	188.3%
合 計	32,846,636	28,616,895	114.8%

※2社間の取引を相殺したものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724